

久山中便り

久山中学校

令和7年7月28日発行

第30号

5チームが参加

科学の甲子園ジュニア

27日(日)に、科学の甲子園ジュニア福岡地区大会が吉塚合同庁舎で開催されました。

この地区大会には、福岡市を除く糟屋、糸島、筑紫、宗像から、24チームが参加しました。(県全体では155チーム参加)そのうち、5チームが久山中学校からの参加です。1チーム3名ですから、15名の久山中の諸君が、理科、数学の難しい問題に挑戦しました。

問題は、非公開ですが、参加者の話では、「地球と月の引力の関係から月の平均密度を求める問題」が出題されたとのことでした。万有引力の法則とケプラーの第三法則を組み合わせることで求められますが、聞いただけで、難しそうです。

難問に挑戦した参加者の皆さんに拍手です。



科学の甲子園ジュニアは、毎年、中学校一・二年生を対象に実施され、全国大会までつながっています。

来年、チャレンジする久山中生徒の皆さんが現れることを期待しています。

英語サマースクール

28日(月)から、英語サマースクールが本校図書館で実施されています。これは、久山町が進めているグローバル人材育成事業の一つで、世界で活躍する人材を育成するとともに、ふるさと久山を愛する豊かな心を育むことを目的に、平成29年度から久原本家グループと共同で始められているものです。

中学校では、夏休みに英語に親しむことをねらいとした「サマースクール」を実施し、町に配置されているALTから指導を受けながら、小学校で作成された地元の歴史に関する絵本を英訳しています。

英訳と言うと、難しそうですが、端末に日本語を入力して英語に変換する作業です。しかし、微妙なニュアンスが違うので、そこから英文の調整を行います。久山町のALTの皆さんは、日本語も堪能ですので、丁寧に指導していただけます。



英訳本のできあがりを楽しみです。

コーチングの手法

25日(金)には、久山町の幼稚園、小学校、中学校の先生方が全員集まって、学習会が開催されました。学習した一つは、「コーチング手法」。

プロスポーツでもコーチが選手を指導します。その際に、相手のやる気を引き出したり、能力を伸ばしたりする支援の方法です。

スキルの一つは「傾聴」。相手の言いたいことを受け止め理解することです。「最後まで聞く」ということが大切らしいのですが、実生活ではなかなかうまくいきません。途中で遮って、

「さつさと部屋の片付けなさい。」

「スマホをいつまで扱っているの。」

「宿題終わったの。」など、夏休み中に、子供達がだらだらと過ごしている様子を見ると、ついつい言いたくなりますが、我慢です。

相手が「聞いてもらった」という気持ちになるような姿勢で聞くことが重要とのこと。

先生方も早速、2学期から実践します。家庭でも「傾聴」を試してはいかがですか。

